



簿記2級 重要仕訳 TOP100・B ランク 第1回

問	論点	難度	WEB 解説	WEB 解説の QR コード
1	有価証券の評価替え（満期保有目的債券）	高・中・低	4-8	
2	税効果会計（損金算入）	高・中・低	7-10	
3	固定資産の廃棄	高・中・低	5-12	
4	売上取引（割引）	高・中・低	1-11	
5	無形固定資産（特許権の償却）	高・中・低	5-22	


簿記2級 重要仕訳 TOP100・B ランク 第2回

問	論点	難度	WEB 解説	WEB 解説の QR コード
1	固定資産の減価償却（改定償却率）	高・中・低	5-17	
2	電子記録債権（譲渡）	高・中・低	2-6	
3	利益処分（資本剰余金）	高・中・低	8-7	
4	有価証券の購入（関連会社株式）	高・中・低	4-2	
5	法人税等（還付）	高・中・低	7-6	

簿記2級 重要仕訳 TOP100・B ランク 第3回

問	論点	難度	WEB 解説	WEB 解説の QR コード
1	有価証券の購入（子会社株式）	高・中・低	4-3	
2	手形の更改（利息の処理②）	高・中・低	2-12	
3	株式申込証拠金（申込期日の処理）	高・中・低	8-3	
4	本支店会計（本店集中計算制度）	高・中・低	9-2	
5	固定資産の減失（未決算の計上②）	高・中・低	5-14	

簿記2級 重要仕訳 TOP100・B ランク 第4回


問	論点	難度	WEB 解説	WEB 解説の QR コード
1	仕入取引（引取運賃）	高・中・低	1-3	
2	消費税（納付額の計算②）	高・中・低	7-4	
3	固定資産の取得（国庫補助金）	高・中・低	5-3	
4	オペレーティング・リース取引（決算処理）	高・中・低	6-6	
5	債務の保証	高・中・低	2-13	

簿記2級 重要仕訳 TOP100・B ランク 第5回

問	論点	難度	WEB 解説	WEB 解説の QR コード
1	貸倒れ債権の回収	高・中・低	2-4	
2	課税所得の計算（益金不算入）	高・中・低	7-8	
3	有価証券の売却（平均原価法）	高・中・低	4-7	
4	固定資産の減価償却（月割償却②）	高・中・低	5-19	
5	銀行勘定調整表（未渡小切手）	高・中・低	10-3	

※上記の「WEB 解説」の番号は、重要仕訳 TOP100 の一覧ページ（<http://www.boki-navi.com/journalizing/2.html>）に記載されている問題番号に対応しています。


簿記2級 重要仕訳 TOP100・B ランク 第6回

問	論点	難度	WEB 解説	WEB 解説の QR コード
1	役員賞与引当金	高・中・低	10-5	
2	固定資産の売却（直接法）	高・中・低	5-8	
3	外貨建取引（決算処理）	高・中・低	3-4	
4	本支店会計（支店の設立）	高・中・低	9-4	
5	当期純損失	高・中・低	8-9	


簿記2級 重要仕訳 TOP100・B ランク 第7回

問	論点	難度	WEB 解説	WEB 解説の QR コード
1	仕入取引（割戻）	高・中・低	1-5	
2	不渡手形（貸倒れ）	高・中・低	2-10	
3	ファイナンス・リース取引（契約時の処理②）	高・中・低	6-2	
4	返品調整引当金	高・中・低	1-14	
5	欠損てん補	高・中・低	8-10	

簿記2級 重要仕訳 TOP100・B ランク 第8回

問	論点	難度	WEB 解説	WEB 解説の QR コード
1	貸倒引当金の設定	高・中・低	2-5	
2	固定資産の取得（不動産取得税）	高・中・低	5-6	
3	賞与引当金	高・中・低	10-4	
4	有価証券の評価替え（その他有価証券）	高・中・低	4-9	
5	仕入取引（割引）	高・中・低	1-6	

簿記2級 重要仕訳 TOP100・B ランク 第9回

問	論点	難度	WEB 解説	WEB 解説の QR コード
1	固定資産の取得（割戻）	高・中・低	5-5	
2	売掛金の譲渡	高・中・低	2-8	
3	売上取引（引渡基準）	高・中・低	1-10	
4	一年基準	高・中・低	10-6	
5	ファイナンス・リース取引（決算処理②）	高・中・低	6-4	

簿記2級 重要仕訳 TOP100・B ランク 第10回

問	論点	難度	WEB 解説	WEB 解説の QR コード
1	株主資本の計数変動	高・中・低	8-11	
2	有価証券の売却（その他有価証券）	高・中・低	4-5	
3	法人税等（追徴）	高・中・低	7-5	
4	無形固定資産（ソフトウェアの除却）	高・中・低	5-21	
5	仕入取引（検収基準）	高・中・低	1-4	

※上記の「WEB 解説の QR コード」をスマホのカメラアプリ等で読み取りますと、簿記検定ナビ内の解説ページに簡単にアクセスすることができます。

簿記2級 重要仕訳 TOP100・Bランク 第1回 問題

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適切と思われるものを選び、正確に記入すること。

現 金	当 座 預 金	普 通 預 金	売 掛 金
未 収 入 金	未 収 利 息	仮 払 法 人 税 等	有 価 証 券
投 資 有 価 証 券	関 係 会 社 株 式	備 品	備 品 減 価 償 却 累 計 額
機 械 装 置	機 械 装 置 減 価 償 却 累 計 額	特 許 権	商 標 権
繰 延 税 金 資 産	買 掛 金	未 払 金	未 払 法 人 税 等
繰 延 税 金 負 債	売 上	売 上 割 戻	有 価 証 券 利 息
仕 入 割 引	固 定 資 産 売 却 益	仕 入	仕 入 割 戻
減 価 償 却 費	特 許 権 償 却	商 標 権 償 却	売 上 割 引
固 定 資 産 売 却 損	固 定 資 産 廃 棄 損	法 人 税 等	法 人 税 等 調 整 額

1. ×1年10月1日において、満期まで保有する目的で吉本フルーツ株式会社の社債（額面総額：¥ 1,000,000、償還期間：5年）を額面 ¥ 100につき ¥ 102で発行と同時に購入し、代金は小切手を振り出して支払った（※適切に処理済み）。

当期末（×2年3月31日）の決算において、償却原価法（定額法）を適用して帳簿価額の評価替えを行う。なお、社債の決算日の時価は額面 ¥ 100につき ¥ 101である。

2. 損金に算入することが認められなかった前期の備品の減価償却費 ¥ 40,000について、この備品を当期首に売却したことにより当期の損金に算入することが認められた。決算において、法人税等の実効税率を40%として税効果会計の処理を行う。

3. ×3年4月1日に購入した製造用機械（耐用年数：5年、残存価額：ゼロ、償却方法：定額法、記帳方法：間接法、当期首時点の帳簿価額：¥ 180,000）を×6年11月22日に廃棄した。なお、当社の決算は3月31日（年1回）であり、減価償却は月割計算で行っている。

4. 先日、「商品の引渡日から1週間以内に代金を決済した場合には2%の割引を行う」という条件で、有川商店に商品 ¥ 100,000を掛けて販売した。商品の引渡日から5日後にあたる本日、2%の割引額が差し引かれた金額が普通預金口座に振り込まれた。

5. 決算において、前期首に取得した特許権（当期首の帳簿価額：¥ 560,000）を定額法により償却した。なお、当社は特許権を耐用年数8年で每期均等償却している。

簿記2級 重要仕訳 TOP100・Bランク 第2回 問題

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適切と思われるものを選び、正確に記入すること。

現金	当座預金	普通預金	売掛金
電子記録債権	未収還付法人税等	未収還付消費税	売買目的有価証券
満期保有目的債券	関連会社株式	子会社株式	その他有価証券
備品	備品減価償却累計額	買掛金	電子記録債務
未払配当金	未払法人税等	未払消費税	資本金
資本準備金	その他資本剰余金	利益準備金	別途積立金
繰越利益剰余金	受取配当金	固定資産売却益	還付法人税等
減価償却費	支払手数料	固定資産売却損	電子記録債権売却損
法人税等	追徴法人税等	法人税等調整額	損益

1. 当期末(×5年3月31日)において、×1年4月1日に購入した備品(購入代価 ¥ 900,000、付随費用: ¥ 100,000、耐用年数: 5年、残存価額: ゼロ、償却方法: 200%定率法、保証率: 0.10800、改定償却率: 0.500、記帳方法: 間接法)の減価償却を行った。なお、当社の決算日は3月末日(会計期間は1年)である。

2. 所有する電子記録債権のうち ¥ 200,000 を原田商店に売却し、譲渡記録を行った。なお、売却代金 ¥ 190,000 は以前に当社が振り出した小切手を受け取った。

3. 定時株主総会において、剰余金の配当および処分が以下のとおり承認された。

- ・その他資本剰余金 ¥ 800,000 を財源として配当を行う。
- ・上記の配当に関連して、会社法が定める金額を準備金として積み立てる。
- ・繰越利益剰余金 ¥ 500,000 を別途積立金に振り替える。

なお、株主総会時点の同社の資本金は ¥ 20,000,000、資本準備金は ¥ 2,900,000、利益準備金は ¥ 2,000,000 であった。

4. 当期首において、長期保有目的で平山ダイニング株式会社の株式 ¥ 200,000 (発行済株式の5%)を購入していたが、本日、影響力を行使する目的で発行済株式の25%を追加購入した。なお、25%分の購入代金 ¥ 1,100,000 は普通預金から支払った。

5. 過年度に納付した法人税について、税務当局から納付額のうち ¥ 320,000 が還付される旨の連絡を受けたため、収益の計上を行った。

簿記2級 重要仕訳 TOP100・Bランク 第3回 問題

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適切と思われるものを選び、正確に記入すること。

現金	当座預金	普通預金	別段預金
受取手形	営業外受取手形	立替金	前払手数料
売買目的有価証券	満期保有目的債券	その他有価証券	関係会社株式
建物	建物減価償却累計額	支払手形	営業外支払手形
預り金	未払手数料	新株式申込証拠金	資本金
株式払込剰余金	受取利息	固定資産売却益	保険差益
広告宣伝費	支払手数料	減価償却費	保険料
支払利息	固定資産売却損	固定資産除却損	火災損失
本店	横浜支店	宇都宮支店	未決算

1. 支配権を獲得する目的で筒井サイエンス株式会社の株式 ¥ 2,500,000（発行済株式の60%）を購入し、代金は手数料 ¥ 10,000 とともに小切手を振り出して支払った。
2. 備品を購入したさいに綿矢商店に振り出した約束手形 ¥ 500,000 について、資金繰りの悪化を理由に手形の更改を申し出たところ、綿矢商店の同意を得ることができたため旧手形と新手形を交換した。なお、支払期日の延長にともなう利息 ¥ 5,000 は新手形に含めることにした。
3. 新たに100株（1株あたりの払込金額は ¥ 50,000）を発行して増資を行うことになり、払い込まれた110株分の申込証拠金を別段預金に預け入れた。なお、当社では申込証拠金を資本金に充当するさいには、会社法が規定する最低額を組み入れることにしている。
4. 谷崎ナオミズム株式会社の横浜支店は、宇都宮支店から「横浜支店の広告宣伝費 ¥ 88,000 を現金で立て替え払いした」との報告を受けたので適切に処理した。なお、同社は本店集中計算制度を採用している。
5. ×2年1月31日、建物（取得原価：¥ 9,000,000、前期末の減価償却累計額：¥ 1,650,000）が火災で焼失した。この建物には火災保険 ¥ 7,000,000 が掛けられていたので、当期の減価償却費を月割りで計上するとともに、ただちに保険会社に保険金の支払いを請求した。
なお、建物の減価償却は定額法（耐用年数：30年、残存価額：ゼロ、記帳方法：間接法）により行っており、決算日は3月31日（会計期間は1年）である。

簿記2級 重要仕訳 TOP100・Bランク 第4回 問題

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適切と思われるものを選び、正確に記入すること。

現金	当座預金	普通預金	立替金
仮払消費税	未収還付消費税	未収還付法人税等	リース資産
備品	備品減価償却累計額	差入保証金	預り金
仮受消費税	未払消費税	未払法人税等	未払リース料
借入金	リース債務	預り保証金	繰越利益剰余金
売上	受取利息	国庫補助金受贈益	固定資産受贈益
仕入	支払運賃	支払手数料	支払リース料
減価償却費	租税公課	法定福利費	支払利息
固定資産圧縮損	損益	保証債務	保証債務見返

1. 運送業者から前月分の運賃の請求書が送られてきたので、小切手を振り出して支払った。請求書の内訳は、商品の購入に関する引取運賃が ¥ 24,000、配送費用（得意先負担）が ¥ 36,000 であった。
2. 決算において納付すべき消費税の額を算定した。なお、本年度の消費税の仮払分は ¥ 360,000、仮受分は ¥ 320,000 であり、消費税の記帳は税抜方式により行っている。
3. 当期首において、備品の取得を助成するために国から交付された補助金 ¥ 300,000 を受け取り、普通預金とした。
4. ×1年7月1日、以下の条件でリース会社と備品のリース契約を締結した。なお、このリース取引はオペレーティング・リース取引である。

リース期間：4年
リース料：年額 ¥ 60,000（支払日は毎年6月末日、現金後払い）
リース資産：見積現金購入価額 ¥ 200,000
耐用年数：5年
決算日：3月31日（会計期間は1年）

決算（×2年3月31日）において、当期の経過期間に対応する支払リース料を月割りで未払計上した。

5. 債務を保証していた取引先が期日までに借入金 ¥ 3,000,000 を返済することができず、債権者から利息 ¥ 150,000 を含めた全額の返済を求められたため、小切手を振り出して支払った。なお、当社では他社の債務を保証するさいに対照勘定を用いて備忘記録をしている。

簿記2級 重要仕訳 TOP100・Bランク 第5回 問題

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適切と思われるものを選び、正確に記入すること。

償却債権取立益	損	益	仕	入	有価証券売却損
その他有価証券	機械減価償却累計額		未収還付法人税等		子会社株式
法人税等調整額	消耗品費		売掛金		普通預金
売	関連会社株式		有価証券売却益		未払法人税等
支払手形	未収入金		有価証券利息		機械
仮払法人税等	買掛金		未払金		営業外受取手形
受取手形	貸倒損失		減価償却費		貸倒引当金
売買目的有価証券	繰越利益剰余金		現金		満期保有目的債券
当座預金	受取配当金		営業外支払手形		法人税等

1. 期中において、当期に発生した売掛金 ¥ 100,000 を貸倒れとして処理していたが、決算日にこのうちの ¥ 30,000 を現金で回収した。なお、貸倒引当金の残高は ¥ 50,000 である。
2. 決算において、税引前当期純利益 ¥ 2,000,000 を計上したが、受取配当金の益金不算入額 ¥ 200,000 があることが判明した。当期の法人税等の法定実効税率を 40% として、未払法人税等を計上する。なお、中間申告のさいに計上した仮払法人税等の残高は ¥ 300,000 である。
3. 売買目的で保有している夢枕サービス株式会社の株式 1,000 株のうち 600 株を 1 株あたり @¥ 840 で売却し、代金は買主が振り出した約束手形を受け取った。なお、夢枕サービス株式会社の株式は当期中に 3 回に分けて購入したもので、@¥ 800 で購入した 100 株、@¥ 850 で購入した 400 株、@¥ 900 で購入した 500 株で構成されており、移動平均法による記帳を行なっている。
4. 機械の減価償却費は概算額（1 か月あたり ¥ 11,000）をもって、4 月から 2 月までの 11 か月間にわたって毎月見積り計上しているため、決算において年間確定額との差額を調整する。

取得原価：¥ 1,200,000
 残存価額：ゼロ
 耐用年数：10 年
 償却方法：定額法
 記帳方法：間接法
 決算日：3 月 31 日（会計期間は 1 年）

5. 消耗品費の支払いのために作成した小切手 ¥ 33,000 と、掛代金の支払いのために作成した小切手 ¥ 165,000 が、決算日現在、未渡しであることが判明した。

簿記2級 重要仕訳 TOP100・Bランク 第6回 問題

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適切と思われるものを選び、正確に記入すること。

現	金	当	座	預	金	普	通	預	金	売	掛	金													
商	品	貸	付	金		未	収	入	金	備		品													
備	品	減	価	償	却	累	計	額		買	掛	金													
借	入	金		未	払	金		未	払	役	員	賞	与	引	当	金									
資	本	金		資	本	準	備	金		利	益	準	備	金		繰	越	利	益	剰	余	金			
売		上		固	定	資	産	売	却	益		固	定	資	産	受	贈	益		仕		入			
売	上	原	価		減	価	償	却	費		役	員	賞	与		役	員	賞	与	引	当	金	繰	入	
固	定	資	産	売	却	損		固	定	資	産	除	却	損		固	定	資	産	圧	縮	損		本	店
支		店		商	品	売	買	益		為	替	差	損	益		損		益							益

1. 決算において、当期に属する役員賞与 ¥ 1,500,000 を見積り計上する。当社では、株主総会において役員賞与の支給に関する議案の承認を受けることにしている。
2. ×1年1月30日に購入した備品（取得原価 ¥ 2,000,000、耐用年数：5年、残存価額：ゼロ、償却方法：定額法、記帳方法：直接法）を、×3年6月30日に ¥ 850,000 で売却し、代金は翌月10日に受け取ることにした。なお、当社の決算日は3月末日（会計期間は1年）であり、購入・売却した年度の減価償却費は月割りで計算すること。
3. 先日、米国の取引先から 5,000 ドルを借り入れ、同日の直物為替相場で記帳処理していた。本日、決算において円換算額の評価替えを行った。

借入時の直物為替相場：1ドル ¥ 112
借入時の先物為替相場：1ドル ¥ 114
決算時の直物為替相場：1ドル ¥ 113
決算時の先物為替相場：1ドル ¥ 115
4. 芝浦に支店を開設することになり、本店から現金 ¥ 1,000,000、商品（原価：¥ 1,200,000、売価：¥ 1,500,000）および工具器具（取得原価：¥ 800,000、減価償却累計額：¥ 320,000）を移管した。支店独立会計制度を導入したときの本店側の仕訳を答えなさい。なお、当社は商品売買にかかる記帳を分記法、有形固定資産の減価償却にかかる記帳を直接法によっている。
5. 決算において、当期純損失 ¥ 1,200,000 を計上した。なお、繰越利益剰余金の貸方残高は ¥ 400,000 である。

簿記2級 重要仕訳 TOP100・Bランク 第7回 問題

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適切と思われるものを選び、正確に記入すること。

現 金	当 座 預 金	普 通 預 金	受 取 手 形
不 渡 手 形	売 掛 金	備 品	リ ー ス 資 産
リース資産減価償却累計額	支 払 手 形	買 掛 金	未 払 リ ー ス 料
貸 倒 引 当 金	売 上 割 戻 引 当 金	商 品 保 証 引 当 金	返 品 調 整 引 当 金
リ ー ス 債 務	資 本 金	資 本 準 備 金	そ の 他 資 本 剰 余 金
利 益 準 備 金	繰 越 利 益 剰 余 金	売 上	返 品 調 整 引 当 金 戻 入
仕 入 割 引	償 却 債 権 取 立 益	仕 入	支 払 手 数 料
減 価 償 却 費	支 払 リ ー ス 料	貸 倒 損 失	返 品 調 整 引 当 金 繰 入
支 払 利 息	売 上 割 引	手 形 売 却 損	損 益

1. 先月と今月の恩田商店からの仕入総額が ¥ 1,200,000 に達し、恩田商店の割戻条件（直近2か月間の売上総額が ¥ 1,000,000 を超える顧客に対し、売上総額の0.5%相当額の支払いを免除する）を満たした旨の連絡を受けたため、本日、同店に対する買掛金を減額した。
2. 得意先奥田商店に対して前期に償還請求をしていた不渡手形の額面 ¥ 500,000 と償還請求費用 ¥ 50,000のうち、¥ 300,000 を他人振出小切手で回収したが、残額については回収の見込みがないため貸倒れ処理をした。なお、貸倒引当金の残高は ¥ 150,000 である。
3. 当期首（4月1日）において、下記の条件でリース会社と備品のリース契約を締結した。このリース取引はファイナンス・リース取引に該当するため、利子抜き法により処理することにしたが、本日（4月10日）、誤って利子込み法で処理していたことが判明したため、契約時の仕訳の訂正を行うことにした。なお、リース契約した備品はリース資産勘定で処理している。

リース期間：4年
リース料：年額 ¥ 80,000（毎年3月末日払い）
リース資産：見積現金購入価額 ¥ 300,000
4. 前期に掛けで販売した商品 ¥ 600,000（原価率：80%）と、当期中に掛けで販売した商品 ¥ 500,000（原価率：75%）が返品された。なお、前期末に設定した返品調整引当金の残高は ¥ 200,000 である。
5. 繰越利益剰余金のマイナスを補てんするために、その他資本剰余金 ¥ 600,000 を取り崩すことを株主総会で決定した。なお、繰越利益剰余金の借方残高は ¥ 800,000 である。

簿記2級 重要仕訳 TOP100・Bランク 第8回 問題

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適切と思われるものを選び、正確に記入すること。

現金	当座預金	普通預金	売掛金
満期保有目的債券	その他有価証券	従業員立替金	仮払法人税等
土地	繰延税金資産	買掛金	預り金
未払法人税等	貸倒引当金	賞与引当金	繰延税金負債
売上	売上割戻	有価証券利息	仕入割引
有価証券評価益	償却債権取立益	仕入	仕入割戻
給料	賞与	租税公課	法定福利費
貸倒引当金繰入	賞与引当金繰入	貸倒損失	売上割引
有価証券評価損	その他有価証券評価差額金	保証債務	保証債務見返

1. 売掛金の期末残高 ¥ 500,000 のうち ¥ 100,000 は経営状態が悪化している川上商店に対するものである。売上債権については過去の貸倒実績率 1%にもとづいて貸倒引当金を設定しているが、川上商店に対する売掛金については回収不能額を 50%と見積もって貸倒引当金を設定することにした。なお、貸倒引当金の期末残高は ¥ 12,000 である。
2. 土地の購入にあたって発生した不動産取得税 ¥ 360,000 の納税通知書が届いたため、現金で納付した。なお、当社では不動産取得税を不動産の付随費用として、取得原価に含めて処理している。
3. 従業員への賞与の支払いにあたり、賞与総額 ¥ 3,000,000 から、所得税の源泉徴収分 ¥ 550,000 を差し引き、手取額を当座預金口座から従業員の普通預金口座へ振り替えて支給した。なお、前期末に賞与引当金 ¥ 2,500,000 を計上している。
4. 当期首（×1年4月1日）において、長期保有目的で林ルンルン株式会社の社債（額面総額：¥ 1,000,000、償還期間：5年）を額面 ¥ 100につき ¥ 97 で発行と同時に購入し、代金は小切手を振り出して支払った（※適切に処理済み）。
 当期末（×2年3月31日）の決算において、償却原価法（定額法）を適用して帳簿価額の評価替えを行うとともに、決算日の時価が額面 ¥ 100につき ¥ 98 であることが判明したため適切に処理する。
5. ×1年8月3日に、仕入先上橋商店に対する買掛金を小切手を振り出して支払った。なお、この買掛金は×1年8月1日に仕入れた商品 ¥ 200,000 にかかるもので、「仕入日より1週間以内に支払う場合は、代金の3%分の支払いを免除する」という条件が付いていた。

簿記2級 重要仕訳 TOP100・Bランク 第9回 問題

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適切と思われるものを選び、正確に記入すること。

現金	当座預金	普通預金	売掛金
電子記録債権	未収入金	前払費用	未収収益
備品	車両運搬具	リース資産	リース資産減価償却累計額
長期前払費用	買掛金	未払金	未払リース料
前受収益	未払利息	リース債務	売上
売上割戻	仕入割引	仕入	仕入割戻
支払運賃	支払手数料	支払リース料	保険料
減価償却費	支払利息	売上割引	債権売却損
手形売却損	電子記録債権売却損	未決算	損益

1. 営業用車両10台（1台あたり ¥ 1,000,000）を購入し、割戻額 ¥ 300,000 を控除した残額を普通預金から支払った。なお、運送費用 ¥ 100,000 は現金で支払った。
2. 湊商店に対する売掛金 ¥ 420,000 を湊商店の承諾を得て貴志商店に譲渡し、貴志商店振り出しの小切手 ¥ 400,000 を受け取った。
3. 先日、得意先朝井商店に商品 ¥ 240,000 を販売し、代金は掛けとした。本日、得意先より商品が到着した旨の連絡を受けた。なお、当社では売上の計上基準として引渡基準を採用している。
4. 当期首において、向こう4年分の保険料（1年あたり ¥ 30,000）を前払いし、全額を保険料勘定に計上していた。決算にあたり、一年基準を適用して保険料を適切な勘定に振り替える。
5. ×1年10月1日に、下記の条件でリース会社と備品のリース契約を締結した。このリース取引はファイナンス・リース取引に該当するため、利子抜き法により処理することにした（※適切に処理済み）。

リース期間：4年
 リース料：年額 ¥ 200,000（毎年9月末日払い）
 リース資産：見積現金購入価額 ¥ 720,000
 決算日：3月31日（会計期間は1年）

当期末（×2年3月31日）の決算において、リース料に含まれている利息のうち、当期の経過期間にかかる分を定額法の月割計算により未払計上するとともに、備品（耐用年数：リース期間、残存価額：ゼロ、償却方法：定額法、記帳方法：間接法）の減価償却費を月割りで計上した。

簿記2級 重要仕訳 TOP100・Bランク 第10回 問題

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適切と思われるものを選び、正確に記入すること。

有価証券売却益	資本準備金	追徴法人税等	ソフトウェア
繰越利益剰余金	その他有価証券	未払金	現金
有価証券売却損	普通預金	売上	未収還付法人税等
法人税等調整額	その他有価証券評価差額金	利益準備金	投資有価証券売却益
有価証券評価損	ソフトウェア償却	還付法人税等	資本金
買掛金	売掛金	返品調整引当金	投資有価証券売却損
有価証券評価益	未収入金	満期保有目的債券	その他資本剰余金
売買目的有価証券	仕入	ソフトウェア除却損	当座預金
ソフトウェア仮勘定	法人税等	減価償却費	未払法人税等

1. 株主総会の決議により、その他資本剰余金 ¥ 500,000 および繰越利益剰余金 ¥ 300,000 を減少して各準備金に組み入れた。
2. 前期中に @¥ 800 で購入し、前期末決算で @¥ 700 に評価替え（全部純資産直入法による洗替方式を適用）していたその他有価証券 1,000 株を諸事情により @¥ 750 で売却し、代金は3営業日後に受け取ることにした。なお、再振替仕訳（評価差額の振戻仕訳）は期首において適切に行われている。
3. 過年度分の法人税について追徴の指摘を受けたため、要納付額 ¥ 550,000 を普通預金から支払った。
4. 不要となったソフトウェアを除却した。なお、当期の償却額は月割りで計上すること。

取得日：×1年8月1日
除却日：×5年5月31日
購入代価：¥ 1,440,000
付随費用：¥ 60,000
利用可能期間：5年
償却方法：定額法
決算日：3月31日（会計期間は1年）

5. 先日、伊坂商店にかねて注文しておいた商品 ¥ 198,000 を受け取り、代金は掛けとした。本日、この商品を検収したところ ¥ 22,000 の商品が品違いであったため返品した。なお、当社では仕入の計上基準として検収基準を採用している。

簿記2級 重要仕訳 TOP100・Bランク 第1回 解答

問	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	有価証券利息	2,000	投資有価証券	2,000
2	法人税等調整額	16,000	繰延税金資産	16,000
3	減価償却費	60,000	機械装置	450,000
	機械装置減価償却累計額	270,000		
	固定資産廃棄損	120,000		
4	普通預金	98,000	売掛金	100,000
	売上割引	2,000		
5	特許権償却	80,000	特許権	80,000

簿記2級 重要仕訳 TOP100・Bランク 第2回 解答

問	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	減価償却費	108,000	備品減価償却累計額	108,000
2	当座預金	190,000	電子記録債権	200,000
	電子記録債権売却損	10,000		
3	その他資本剰余金	880,000	未払配当金	800,000
			資本準備金	80,000
	繰越利益剰余金	500,000	別途積立金	500,000
4	関連会社株式	1,300,000	その他有価証券	200,000
			普通預金	1,100,000
5	未収還付法人税等	320,000	還付法人税等	320,000

簿記2級 重要仕訳 TOP100・Bランク 第3回 解答

問	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	関係会社株式	2,510,000	当座預金	2,510,000
2	営業外支払手形	500,000	営業外支払手形	505,000
	支払利息	5,000		
3	別段預金	5,500,000	新株式申込証拠金	5,500,000
4	広告宣伝費	88,000	本店	88,000
5	減価償却費	250,000	建物	9,000,000
	建物減価償却累計額	1,650,000		
	未決算	7,000,000		
	火災損失	100,000		

簿記2級 重要仕訳 TOP100・Bランク 第4回 解答

問	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	仕入	24,000	当座預金	60,000
	立替金	36,000		
2	仮受消費税	320,000	仮払消費税	360,000
	未収還付消費税	40,000		
3	普通預金	300,000	国庫補助金受贈益	300,000
4	支払リース料	45,000	未払リース料	45,000
5	立替金	3,150,000	当座預金	3,150,000
	保証債務	3,000,000	保証債務見返	3,000,000

簿記2級 重要仕訳 TOP100・Bランク 第5回 解答

問	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	現金	30,000	貸倒損失	30,000
2	法人税等	720,000	仮払法人税等 未払法人税等	300,000 420,000
3	営業外受取手形 有価証券売却損	504,000 18,000	売買目的有価証券	522,000
4	機械減価償却累計額	1,000	減価償却費	1,000
5	当座預金	198,000	未払金 買掛金	33,000 165,000

簿記2級 重要仕訳 TOP100・Bランク 第6回 解答

問	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	役員賞与引当金繰入	1,500,000	役員賞与引当金	1,500,000
2	減価償却費 未収入金 固定資産売却損	100,000 850,000 150,000	備品	1,100,000
3	為替差損益	5,000	借入金	5,000
4	支店	2,680,000	現金 商品 工具器具	1,000,000 1,200,000 480,000
5	繰越利益剰余金	1,200,000	損益	1,200,000

簿記2級 重要仕訳 TOP100・Bランク 第7回 解答

問	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	買掛金	6,000	仕入	6,000
2	現金 貸倒引当金 貸倒損失	300,000 150,000 100,000	不渡手形	550,000
3	リース債務	20,000	リース資産	20,000
4	仕入 返品調整引当金 売上	480,000 120,000 500,000	売掛金	1,100,000
5	その他資本剰余金	600,000	繰越利益剰余金	600,000

簿記2級 重要仕訳 TOP100・Bランク 第8回 解答

問	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	貸倒引当金繰入	42,000	貸倒引当金	42,000
2	土地	360,000	現金	360,000
3	賞与引当金 賞与	2,500,000 500,000	預り金 当座預金	550,000 2,450,000
4	その他有価証券	10,000	有価証券利息 その他有価証券評価差額金	6,000 4,000
5	買掛金	200,000	当座預金 仕入割引	194,000 6,000

簿記2級 重要仕訳 TOP100・Bランク 第9回 解答

問	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	車両運搬具	9,800,000	普通預金 現金	9,700,000 100,000
2	現金 債権売却損	400,000 20,000	売掛金	420,000
3	売掛金	240,000	売上	240,000
4	前払費用 長期前払費用	30,000 60,000	保険料	90,000
5	支払利息 減価償却費	10,000 90,000	未払利息 リース資産減価償却累計額	10,000 90,000

簿記2級 重要仕訳 TOP100・Bランク 第10回 解答

問	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	その他資本剰余金 繰越利益剰余金	500,000 300,000	資本準備金 利益準備金	500,000 300,000
2	未収入金 投資有価証券売却損	750,000 50,000	その他有価証券	800,000
3	追徴法人税等	550,000	普通預金	550,000
4	ソフトウェア償却 ソフトウェア除却損	50,000 350,000	ソフトウェア	400,000
5	仕入	176,000	買掛金	176,000